

# やまなし 県議会だより



4月7日に開催された第47回信玄公祭りでは、昨年に引き続き県議会おもてなしサロンを開催し、県内外からの来訪者をおもてなしました。

**一月定例会の概要**

県議会は、平成三十年二月定例会を二月十九日から三月三日までの三十三日間の日程で開きました。

開会日の提案理由説明で後藤斎知事は、人口減少に歯止めをかけ、人口ビジョンに描く将来展望を実現するための総合戦略を一層推進していく考えを示されました。

また、二年後に控えた東京オリンピック・パラリンピック大会の開催などを見据え、本県が誇る観光、農業、地場産業、水といった資源を地域の活性化につなげていく施策、さらには、これからの方々への支援、新技術の導入など、本県の未来を切り開く施策に重点的に予算計上したことを強調されました。

知事の説明を受けて、二月二十六日、二十七日、二十八日、三月一日の四日間、代表・一般質問を行いました。

総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会は、三月二日に平成二十九年度補正予算案等の審査を行い、三月七日、八日、九日には、予算特別委員会から調査依頼があつた議案や付託案件、所管事項の審査を行いました。

定例会最終日の三月二十三日には、山梨県防災基本条例案や総額四千五百五十五億九千三十八万八千元の一般会計当初予算案など五十件を可決、同意しました。



甲府駅前での街頭キャンペーン

県民に広く「富士山の日」をアピールするとともに、富士山の保全に向けた機運をさらに促進させるため、二月二十三日に、甲府駅前等において街頭キャンペーンを行いました。

**【富士山保全促進議員連盟】**  
委員会を開き、平成二十四年度に知事に行つた「鳥獣被害対策に関する政策提言」において提言した施策の進捗状況や鳥獣被害の状況を調査しました。

**【鳥獣被害対策政策提言検証委員会】**  
委員会を開き、平成二十四年度に知事に行つた「鳥獣被害対策に関する政策提言」において提言した施策の進捗状況や鳥獣被害の状況を調査しました。

**【選挙公報に関する条例案作成委員会】**  
山梨県議会の議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例案について検討を行いました。

## 議会活動の紹介

### 自殺対策議員連盟研究委員会

自殺の兆候に気付いて相談・支援につなげる「ゲートキーパー」の養成研修を委員が受講し、県精神保健福祉センターからゲートキーパーに認定されました。



研修会での傾聴疑似体験

**【芸術クラブ作品展示会】**  
二月定例会会期中、山梨県議会議員厚生会芸術クラブ作品展示会（書道・写真）を開催し、多くの方に鑑賞していただきました。



# 委員会リポート

総務、教育厚生、農政産業観光及び土木森林環境の四常任委員会は、三月一日に平成二十九年度補正予算案等の、三月七日～九日には平成三十年度当初予算案等に係る審査を行いました。平成三十年度当初予算案等の審査では、委員会の分散開催を試行し、一般傍聴者とともに多くの議員が傍聴しました。また、予算特別委員会から調査を依頼された議案について、三月十四日の予算特別委員会で、審査の内容及び審査結果を各常任委員長が報告しました。

## 総務委員会

委員長 遠藤 浩



### 緊急事態対策用ドローン整備事業費

問 テロや災害の対策として、ドローンを整備するとのことであるが、どのように活用するのか。

答 東京オリンピック・パラリンピックにおいて、自転車ロードレースの本県の通過が有力視されていることから、コース上空からの事前検索のほか、事前合宿地の施設・建物等における不審者・不審物の発見などに活用する。これにより、撮影した映像をリアルタイムに警察本部へ伝送することで、早期に状況把握、指揮等ができる、より組織的な対応が可能となる。

また、多少の悪天候でも飛行可能となる。



ドローンを用いた研究の調査

## 農政産業観光委員会

委員長 塩澤 浩



### 信用保証料補助金

問 商工業振興資金の融資を受ける際、借り主である中小企業が信用保証協会に支払う保証料の二分の一を県が補助する制度について、来年度から新たに補助対象を広げるとのことであるが、狙いは何か。

答 近年、緩やかな景気の回復傾向が続いている。そのため、現在の小規模企業の経営サポートを中心とする融資だけでなく、新たな設備投資や、起業・創業、事業継承、新分野進出といった前向きな資金需要にまで保証料補助の対象を拡充することで、利用者である県内中小企業者の負担を軽減し、積極的な事業展開を後押ししていく。



県内製造業の現場調査

- 【その他の主な質問事項】
- 富士の国やまなし観光ネットリニューアル事業費
  - 外国人観光客誘客推進事業費
  - やまなし次世代農業チャレンジ事業費
  - 水力発電所建設費
  - 主要農作物種子法施行条例廃止の件
  - 「やまなしで働く魅力」若者座談会開催事業費
  - やまなし縁結びサポート事業費
  - 食による地域の魅力再発見事業費
  - 地域防災力強化推進事業費

## 教育厚生委員会

委員長 望月 利樹



### 次世代型農福連携パワーアップ事業費

問 農福連携推進センターは、どのような業務を行うのか。

また、農業を取り組もうとする福祉施設の初期投資に対する支援とは、どのようなものか。



国内最大級の木造屋内練習走路を調査

答 農福連携推進センターでは、農家のニーズを把握しながら障害者の就労を仲介するとともに、JAなどと連携し、福祉施設への技術支援も行っていく。



橋梁長寿命化工事を調査

問 効率的な作業システムの実証とは、どのような取り組みか。また、どのような成果が見込まれ、その成果をどのように展開していくのか。

答 森林調査等にドローンなどのICT先端技術を導入するとともに、高性能林業機械等を併用しながら伐採から植栽までの作業を一貫して行い効率化を図る、新たな作業システムの実証を三年間行う。その成果の活用により、作業コストを三割程度縮減することを目指している。



橋梁長寿命化工事を調査

問 効率的な作業システムの実証とは、どのような取り組みか。また、どのような成果が見込まれ、その成果をどのように展開していくのか。

答 森林調査等にドローンなどのICT先端技術を導入するとともに、高性能林業機械等を併用しながら伐採から植栽までの作業を一貫して行い効率化を図る、新たな作業システムの実証を三年間行う。その成果の活用により、作業コストを三割程度縮減することを目指している。



橋梁長寿命化工事を調査

問 効率的な作業システムの実証とは、どのような取り組みか。また、どのような成果が見込まれ、その成果をどのように展開していくのか。

答 森林調査等にドローンなどのICT先端技術を導入するとともに、高性能林業機械等を併用しながら伐採から植栽までの作業を一貫して行い効率化を図る、新たな作業システムの実証を三年間行う。その成果の活用により、作業コストを三割程度縮減することを目指している。



橋梁長寿命化工事を調査

## 新しい常任委員会の構成

(平成三十年三月)

議長	白壁 賢一	副議長	久保田 松幸
委員会名		委員	
正副委員長			
議会運営	中村 正則	渡辺 淳也	土橋 亨
総務	水岸 富美男	皆川 嶽	大柴 邦彦
農政産業観光	桜本 広樹	猪股 尚彦	望月 利樹
教育厚生	清水 喜美男	上田 仁	白壁 賢一
土木森林環境	乙黒 泰樹	山田 七穂	佐藤 茂樹
	永井 学	山田 七穂	渡辺 英機
	大柴 邦彦	白壁 賢一	皆川 嶽
	卯月 政人	猪股 尚彦	望月 利樹
	久保田 松幸	早川 浩	浅川 力三
	白井 成夫	小越 智子	河西 敏郎
	鈴木 幹夫	遠藤 浩	飯島 修
	古屋 雅夫	杉山 肇	河西 敏郎
	安本 美紀	石井 健徳	飯島 修
	宮本 秀憲	望月 利樹	
定数	10	10	10

## 土木森林環境委員会

委員長 飯島 修



調査結果で特に要望の多かった、農業用倉庫や農機具など、実際に農業を始めるために必要な機材や農薬、種苗の購入にかかる初期費用を助成する。

・アレルギー疾患対策事業費  
・生活困窮者自立支援事業費  
・医師確保対策費  
・学力向上総合対策事業費

## 農政産業観光委員会

委員長 飯島 修



実証は、県有林内で県内の事業体が行い、技能を習得した事業体が森林所有者に低コスト作業を提案して伐採を行つて、森林調査等にドローンなどのICT先端技術を導入するとともに、高性能林業機械等を併用しながら伐採から植栽までの作業を一貫して行い効率化を図る、新たな作業システムの実証を三年間行う。その成果の活用により、作業コストを三割程度縮減することを目指している。



橋梁長寿命化工事を調査



教育厚生委員会



総務委員会

